

# よしもと和広の

## 町議会報告

2019年4月



日本共産党上富田町委員会  
吉本和広 ☎ 08053301493

### 一 教員の多忙問題について

教員の多忙化が社会問題となっています。教員の多忙化は、教員自身の問題だけでなく、教員が子どもと向き合う時間や質に関わる問題であり、子どもの成長にとって放っておけない問題なのです。このことについて議会で質問しました。

**よしもと** 県の勤務時間調査での小・中学校教員の残業時間はどのようになっていますか。

**教育長** 持ち帰り仕事を含め、小・中学校教員の平均と最長の残業時間は「図1」とおりです。

**よしもと** 教員は、毎日夜8時過ぎまで働いています。最長者は小学校で夜11時半頃まで、中学校では次の日の朝2時過ぎまで働いているという現状があります。教員の多忙化は、学校が週5日制になったことと教員の定数が大きく関わっています。1958年に初めて法律で教員定数は定められました。「図2」のように一人の教員が受け持つ授業時数は1日4時間。残り4時間は授業の準備と教科外指導に充てると考えられていました。その結果、120分は授業以外の業務に充てることができ、残業時間は1日30分程度でした。しかし、週5日制になった際、必要な教員数を増やさず、週6日制で行っていた以上の授業数を5日間に詰め込みました。1日の教員が受け持つ授業数は5〜6時間となり、「図2」のように授業以外の業務に使える時間は25分か75分しか残らなくなりました。

**教育長** 朝来小学校では、担任の持ち時間は週1年生で26時間、2年生で27時間、3年生で26.3時間、4年生で27.3時間、5年生、6年生とも24.6時間となっています。支援学級の担任は、多い人で29時間持っています。中学校の担任は、週20〜21時間となっています。担任は採点、連絡帳の点検、宿題・ノート点検、研修、学年の打合せ、保護者との連携や対応、家庭訪問などの忙しい毎日を送っています。

図1 上富田町の小・中学校教員の残業時間

	1か月の平均残業時間	最長者の1か月の残業時間
小学校5校	約78時間	約145時間
中学校	約80時間	約205時間

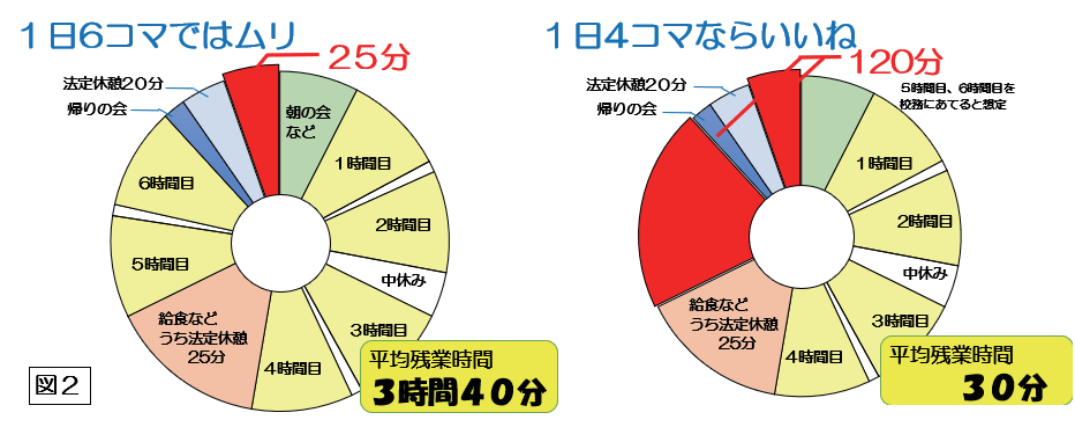


図2

**よしもと** 中学校の担任は生徒・保護者全員とノートでやり取りをする取り組みをしています。これを1時間の持ち時間としており、持ち時間は週25時間となり、1日持ち時間は5時間となります。50分授業なので業務に使える時間は1時間程度で、クラブ指導を1時間すれば業務にあてる時間は無くなります。

小学校では1日の授業時間が5〜6時間となり、業務に使える時間は25分か75分です。1日の残業時間は3時間45分も増えています。これを解決するためには、持ち時間数を、当初決めた1日4時間に戻し、それに見合う教員数にする必要があります。町だけでは解決できない問題だと考えますが、どうお考えですか。

**教育長** 国の課題であり、町で解決できる問題ではありません。物理的に授業時数と他の業務や生活・生徒指導、研修等があり、多忙な中での教育活動となります。